

## 島根県食育推進計画第三次計画の策定にあたって

県では、平成19年3月に「島根県食育推進計画（平成19年度～平成23年度）」、平成24年3月に「島根県食育推進計画第二次計画（平成24年度～平成28年度）」を策定し、「おいしい・たのしい・ためになる しまねの食育」と「地域力」をキーワードに、食育まつりや料理コンクール、各種食育体験教室の実施、地場産物を活用した給食の実施促進など、関係機関・団体等と連携して食育に取り組んでまいりました。

これまでの取組により、食育体験の場が増えるとともに、学校給食での県内食材の活用割合が増加するなどの成果がありました。一方で、20～30歳代における朝食の欠食率の増加や野菜の摂取不足などの課題が依然としてあり、さらに40歳代でも同様な課題が生じています。また、高齢者の夫婦世帯や単身世帯が増える中、高齢者の孤食や低栄養に対する取組が求められています。

この度、これまでの取組の成果や食をめぐる現状、課題を踏まえ、島根らしい食育をより一層推進するため、「島根県食育推進計画第三次計画（平成29年度～平成34年度）」を策定致しました。

島根は、豊かな自然と農林水産物に恵まれ、また、その農林水産物を使った伝統食や郷土食も豊富にあり、食に関する体験ができる環境が身近にあります。そして、地域には食に関する知識や知恵を伝える人材や組織等があり、食育に取り組む推進力、地域力となっています。

健康で生きがいをもって、質の高い生活を送ることは、私たち全ての願いであり、その実現のために食育は重要です。今後も、地域力を生かし、様々な関係機関・団体、関係者等との連携を深め、地域全体で県民運動として、子どもから高齢者まで生涯にわたる食育を推進してまいります。

終わりに、計画策定にあたり、貴重な御意見や御提言をいただきました皆様、御協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

平成29年3月

島根県知事 溝口 善兵衛